

町並み、歴史探訪、お地蔵様めぐりに
しずおか百地蔵
好評発売中
A5判 700円
申し込みは、静岡リビング新聞社 ☎054(255)1231

① 呉服町タワー

4月上旬オープン



これからの呉服町は？

「呉服町タワーによって、人の流れが変わるでしょう。また、今までほとんど住む人がいなかった呉服町商店街に、新たに279世帯が入居し生活することで、人が集まり交流する場ができると思います。これからは、呉服町ならではの上質感を出しながら、専門店とチェーン店が融合した“古くて新しい町”を目指していきます」

静岡呉服町第一地区市街地再開発組合理事長・足野幹男さん



この春登場!

“おまち”の新スポット

“おまち”の通称で親しまれている静岡市の中心市街地に、この春、新しい施設が次々と登場します。新スポットと商店街の思いを感じる「まち歩き」の楽しさを体験しませんか。
(千賀由美子記者)

4月上旬、葵区呉服町1丁目に、地上29階、地下1階の「呉服町タワー」がオープンします。8～29階は住居部分。商業施設の1階は、Book&Cafeを展開する「TSUTAYAすみや静岡本店」をはじめ、静岡伊勢丹の別館「コリドー6」としてバッグの「キタムラ」、呉服町の老舗店舗「アジョックヒキノ」や「菊秀刃物店」などが入ります。2階は、健康診断の専門施設「静岡市静岡医師会健診センターMEDIO」が葵区栄町から移転オープン。ポケットパークや約170台収容の駐車場も備え、呉服町の新しいにぎわいスポットになりそうです。

■3月29日(土)・30日(日)、午後1～5時30分、呉服町通りの歩行者天国で桜をテーマにしたイベント「春店市」を開催。ワゴンセール、桜ステージ、桜ライトアップなどを実施
■問い合わせ/静岡呉服町名店街 ☎054(255)8039

③ 静岡科学館 る・く・る

3月21日リニューアル



「静岡科学館る・く・る」は、開館10周年の3月21日(金・祝)に、10階おどろきゾーン“磁石・電気のエリア”の展示物を大幅にリニューアルします。今まで以上に楽しく遊びながら学べそうです。

はらはらウォール(写真上)
磁石が埋め込まれたグローブでウォールに張り付き、向こう岸まで渡る未来のアスレチック

エナジーすべり台(写真左)
体験者の重さや通過時間をセンサーが測定。運動エネルギーのレベルに応じて輝く未来のすべり台

科学の魔法発見ラボ
タッチ式ディスプレイやデジタル顕微鏡などの道具を使って研究できるラボ(研究室)

※画像はイメージです

■問い合わせ/静岡科学館る・く・る ☎054(284)6960
<http://www.rukuru.jp>

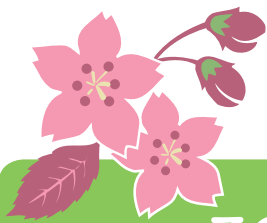
② 坤櫓 (ひつじさるやぐら)

4月上旬一般公開



駿府城公園に登場するのは、伝統的な建築工法で復元された「坤櫓(ひつじさるやぐら)」。純白の漆喰(しゅくくい)の壁と最上部にそびえる青銅製の「鯨(しゃち)」の姿が見られます。内部は、新しい映像手法で不思議な体験ができる「時空の間」や、櫓上部に設置した展望鏡から駿府の今・昔が見える「見渡しの間」など、駿府の魅力を紹介するコーナーがいっぱいです。一般公開は4月上旬から(要入場料)。

■問い合わせ/静岡市公園整備課 ☎054(221)1121
<http://www.city.shizuoka.jp/deps/kouen-seibi/>



知ってる？知らない？

◎ 1面から続く

“おまち”の豆知識

“おまち”には、「訪れる人が楽しく過ごせるように」と、思いを込めたさまざまな設備や歴史的な由来があります。あなたの「まち歩き」が、もっとおもしろくなる“おまち”の豆知識を紹介します。

この春登場！ “おまち”の新スポット

呉服町通り、デザインのこだわり知ってる…？

◇呉服町通りの入り口にあるアーチは、東海道を繰り広げられた庶民の日常生活の様子をデザインしたものです。街路灯は、江戸時代の行灯(あんどん)、ベンチは、かんざし・天秤棒、縁台などのイメージで作成されています

◇呉服町通りのスクランブル交差点付近のベンチは、オーストリア・ウィーンのシェンブルーン宮殿にあるものと同じ。街路灯は、100年前の復刻版



紺屋町は“県内唯一”の…？

◇紺屋町商店街の紺屋町 Be-One は、県内唯一の地下商店街。地下のお休み処や小梳神社など、無料で休憩できる場所もあります。実は、ラーメン店が13店舗もある、ラーメン激戦区です



御幸通りの名前の由来は？

◇1930(昭和5)年、静岡市一の大通りとして開通した際、一番最初に昭和天皇が通られたことから「御幸通り」と名付けられました。その後、周辺の区画整理により御幸町が誕生。デザイナーの池ヶ谷哲次さんによる「町の紋章」もあります



足元、耳元、頭上も楽しい七間町通り

◇七間町の歩道は、劣化が少ない「大理石」を使用。車道は、いちょうばり、うろこばりのブロックでヨーロッパ風の街並に
◇アーケードから流れる音楽は、七間町名店街が独自に編集したBGM。時間帯によってシーンをイメージした音楽が選ばれています

◇1973(昭和48)年に街路樹のケヤキを植樹。1992(平成4)年に都市景観最優秀賞を受賞しています



伝馬町の街路灯にある動物が！

◇伝馬町の街路灯には町の名前にちなんでペガサスの彫刻が施されています。東海道五十三次19番目の府中宿として栄えたこの地域には、歴史をたどる石碑も多くあります



© Mercis bv

ニオくん

オランダからの贈り物が駿府城公園に

徳川家康が駿府城で贈った朱印状により交易が始まったことを記念し、オランダ王国大使館からチューリップやムスカリの球根が贈られました。それらを使い、県立静岡農業高校の生徒たちが駿府城公園に花壇を作成。オランダの絵本作家ディック・ブルーナが描いたキャラクター「ニオくん」の形にデザインされた花壇は、4月2日(水)に行われる坤櫓(ひつじさるやぐら)の完成式典に合わせ、お披露目される予定です

